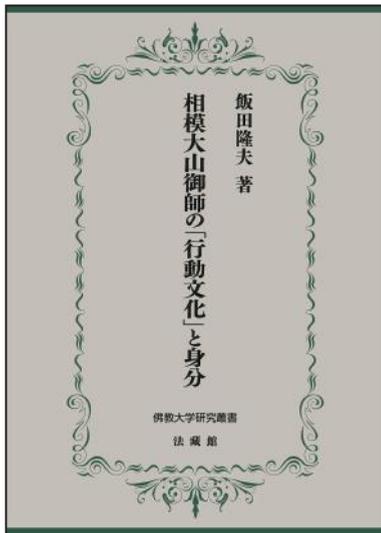


相模大山御師の

「行動文化」と身分

いいだ たかお
飯田隆夫著 ▼A5判・上製カバー・330頁・定価10,130円

2025年3月刊行



近世から近代初頭にかけて、山岳霊場相模大
山の発展と繁栄を陰で支えた御師たちの実
像を、知られざる資料・文献を駆使して構造
的に描く。

【目次】

- 序章 相模御師の「行動文化」と身分
- 第一編 御師の「行動文化」
- 第一章 相模国大山寺真名本縁起と仮名本縁起の相関
 - 第二章 相模大山木太刀奉納の起源
―初代市川団十郎の元禄六年自記を介して―
 - 第三章 相模大山の現存木太刀・金物太刀とその言説
 - 第四章 『大山不動靈験記』における靈験主の考察
 - 第五章 江戸町火消と相模大山参詣講
 - 第六章 富田光美が相模大山に伝えた倭舞・巫女舞
―歌謡とその背景―
 - 第七章 能狂言・剣術と大山御師
- 第二編 御師の身分
- 第八章 近世における相模大山御師の形成過程
 - 第九章 幕末における大山御師と古川躬行
 - 第一〇章 相模大山寺の廃寺復興

補論 東御市祢津地区における相模大山石尊の奉納
木太刀

近世相模大山主題別略年表

初出一覧

参考文献

あとがき

◆著者略歴

飯田隆夫(いいだ たかお)

一九四四年生まれ。二〇〇九年、放送大学大学院文化科学研究
科修士課程修了。二〇一七年、佛教大学大学院文学研究科博士
課程修了。専門分野は近世史・山岳信仰。
主要論文に「江戸町火消と相模大山参詣」(『放送大学日本史学
論叢』2、二〇一五年)、「近世期における相模大山御師の形成過
程―出自と取次―」(『鷹陵史学』42、二〇一六年)など。

注文書	
(書店印)	
様	冊
ご担当	
飯田隆夫著	
相模大山御師の	
「行動文化」と身分	
ISBN: 978-4-8318-6296-9 C3039	
法蔵館	定価 10,130円
住所	お名前
お電話	お名前

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

日本史・民俗